

# くらし塾 さんゆう塾

vol. 9

2009夏号

●巻頭インタビュー

どの人生にも冒険がある

プロスキーヤー 三浦雄一郎

●そこが知りたい! くらしの金融知識

とてもリスクの高い運用商品の  
見分け方、つきあい方



●連載エッセイ くらしの中の金融経済学―

お茶屋の信用創造

京都大学経済研究所教授 梶井厚志

●金融教育の現場レポート

「ひと」「もの」を大切に  
する心を育む体験学習

知るぽると

どの人生にも冒険がある

巻頭  
インタビュー

# 三浦雄一郎

プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長

くらし塾  
さんゆう塾

Vol. 9

## 目次

●巻頭インタビュー	2
●そこが知りたい! くらしの金融知識	6
とてもリスクの高い 運用商品の見分け方、 つきあい方	
●連載エッセイ	11
—くらしの中の金融経済学— 〈第1回〉お茶屋の信用創造	
●おもいやり講座	14
〈vol.1〉贈りもの編	
●知るぼと最前線	16
親子でたのしく学べる金融教育のイベント 金融教育フェスティバルを 全国10カ所で開催します	
●金融教育の現場レポート	18
「ひと」「もの」を大切する心を 育む体験学習	
●次代に伝えたい、くらしに根付く文化	22
水とともに生きる文化	
●経済のしくみ ゼロから知ってみよう!	24
「株式会社」ってなんだろう?	
●まんが わたしはダマサレナイ!!	26
未公開株取引詐欺	
●知るぼとラウンジ	29
都道府県金融広報委員会の活動紹介 金融広報アドバイザーの紹介	
●金融広報だより	32
第8回「金融に関する消費者教育フォーラム」を開催 作文・小論文コンクールに応募してみませんか?	
●おたよりコーナー	33
●都道府県金融広報委員会一覧	34
●知るぼとミュージアム	35
●まんが「おかねのね」	36

●題字 矢田勝美  
●表紙イラスト オオノ・マユミ

アドベンチャースキーという

独自の分野を開拓し、

冒険スキーヤーとして

様々な世界記録を樹立してきた

三浦雄一郎さん。

昨年75歳でエベレストの登頂に成功し、

ギネスブックに最高齢登頂者として

登録されたニュースは

まだ記憶に新しい方も多いことでしょう。

そんな三浦さんに

冒険の魅力や未知に挑戦する

生き方についてお話を伺いました。



2008年5月26日 エベレスト山頂(8848m)に。その登頂の第一声は「涙が出るほど辛くて、厳しくて、嬉しい」というものだった

### ●三浦雄一郎(みうら・ゆういちろう)

1932年10月12日青森市に生まれる。1964年イタリア・キロメーターランセ(現在のスピードスキー)に日本人として初めて参加、時速〇七、〇八キロの当時の世界新記録樹立。2008年、75歳にして2度目のエベレスト登頂を果たす。記録映画、写真集、著書多数。クラーク記念国際高等学校校長、(社)全国森林レクリエーション協会会長、NPO法人グローバル・スポーツアライアンス理事長、(財)こども教育支援財団副理事長他。

## 未知の可能性への挑戦が冒険の本質

2月にスキー場でのアクシデントで骨盤骨折という重傷を負ったばかりの三浦さん。しかし取材当日の数日前には無事に退院をし、リハビリテーションに打ち込む日々の中で元氣な姿を見せてくれた。

「冒険は冒険家だけの特権ではないんです」と三浦さんは穏やかに語り始めた。富士山やエベレストなど世界7大陸の最高峰からのスキーでの滑降、そして70歳を越えてからの二度に及ぶエベレスト登頂など、超人的な冒険人生を歩んできた三浦さんにとって冒険の本質とは、未知の可能性への挑戦だという。

「そう考えていくと、どんな人にも冒険のあることがわかってきます。いろいろな人の冒険があったおかげで、今の人類はあるのでないでしょうか。人類の祖先が安住の地である森林から草原へ一步を踏み出したことは、外敵に身をさらすとしても危険な冒険だったはずですよ」

三浦さんは、何かを発明したり、科学的な発見をすることも冒険であると話す。発明や発見という未知の可能性への挑戦。そこから得られた数多くの成果があったからこそ、私たちの暮らしが成り立っている、というのが三浦さんの持論だ。人それぞれにある冒険。その一つである先人たちが成し遂げた発明や発見の恩恵を受けて私たちは生活し、そこで私たちもいろいろな冒険をしている。未知の可能性に挑戦する限り、子どもも大人も、そして女性も男性もすべての人に

冒険があるのだ。

## 父から学んだ冒険の精神

三浦さんに大きな影響を与えたのは、父親の三浦敬三さん。公務員をしながら山岳スキーヤー、山岳写真家として残した数多くの実績とともに、その存在は、わが国スキー界の草分けとして知られている。そんな父親から三浦さんは信念とチャレンジ精神を学んだという。

「父が活躍しはじめた当時のスキーといえばヨーロッパが主流。日本のスキーには、オリジナルのスタイルはまだ存在していませんでした。父は、そこに疑問を持ち、新しい独自のスタイルを確立したんです。当然、異端児として見られました。スキーといえばヨーロッパという当時の常識に敢えて挑んだのですから」

既成概念にこだわらず、わが国のスキーの向上にとって何がベストかを考え、それを追求すること。そのため父、敬三さんは、信念を貫き、わが国のスキー界に多大な業績を残した。101歳で亡くなるまで現役スキーヤーとして活動、また山岳写真家としては芸術への挑戦を続けた。生涯、己れの信念と未知の可能性への挑戦を貫く父親の生き方そのものに三浦さんは冒険心を感じて育つ。

## 日本一がダメなら世界一になろう

そして高校、大学とスキーに打ち込んだ三浦さんは、スキー選手として活躍するようになる。しかし、転機



が訪れた。「日本代表としてオリンピックの出場を目指していたのですが、その夢はかないませんでした。完璧な挫折の中で私の冒険人生が始まったんです」

やがて三浦さんは従来のスキーではなく、アドベンチャースキーという新たな分野を開き、その道を歩み始める。

「簡単に言えばスキーを使って誰もやっていない冒険をする。それがアドベンチャースキーです。今までのスキーでは日本一にはなれなかったけれど、アドベンチャースキーで世界一の記録を作ろうと決心したんです」  
三浦さんの選んだ道には、二重の意味で冒険がある。一つは言うまでもなくアドベンチャースキーそのものが冒険であること。そしてもう一つの冒険は、アドベンチャースキーという前例のない分野でプロとして生きることだった。

「今まで誰も足を踏み入れたことのない世界がアドベンチャースキーです。どんな課題に挑戦すべきかをプランするのも自分。そして実際にそれに挑み、成功させる競技者も自分だったのです。いわば作詞も作曲も歌も全部自分でやるシンガーソングライターのようなものでした」

三浦さんは未知の可能性への挑戦に躊躇はなかった。数々の世界新記録に輝くアドベンチャースキーヤー三浦雄一郎。その名は世界に轟いていく。

## マイナスからスタートした70歳の挑戦

「60歳になった頃、引退しようと思った。世界

「精神的に暗くならない、自分自身を追い詰めない。楽天的な考え方が若さを保つ秘訣。ぼくはそんなに真面目なほうじゃないんだ」と、とても75歳には見えない三浦さんは話す

# 三浦雄一郎

インタビュー

記録を打ち立てるといふ夢は幾つもかなえたり、もうこれでもいいかなと思つたんです」。リタイヤした生活を始めて3年ほど経過したある日、三浦さんは、奥さんの付き添いで病院に行き、健康診断を医師から勧められる。「診断結果は、さんざんなものでした。完全なメタボ状態。糖尿や心臓病などいくつもの生活習慣病にもかかつていたんです」

三浦さんは愕然とする。このまま自分は老け込んでしまふのか。60歳を越えてから海外遠征を始めた父の敬三さんの姿も思い浮かんだ。「冒険にリタイヤはない。どんな人にも冒険があり、一人の人生のどの時間も冒険でありえる。そう考えた末の結論は、70歳でエベレストに登ることでした。エベレストの8000メートル級の地点から滑降したことはありましたが、頂上まで登つたことはありませんでした」

三浦さんによればエベレストのような8000メートル級の山に登れば、身体能力はその負荷で肉体年齢に70歳分を加えた状態まで低下すると言う。

エベレストに登るその日までにどこまで肉体年齢を若返らせていけるか。64歳で三浦さんの新たな冒険が始まった。様々なトレーニングを自分に課し、移動中も両足首に8kgずつの重りと20kgの重り入りのリュックを背負う日々が続く。

一歩ずつエベレストへの歩みを進める三浦さん。それはゼロからではなく、いくつも生活習慣病を抱えた、いわばマイナスからのスタートだった。

どの人生にも冒険がある。その信念を三浦さんは

貫く。そして2003年、70歳という当時の世界最高齢でのエベレスト登山に成功。さらに2008年には75歳で再登頂し、世界記録を更新する。半年前に心臓手術を受けた上での快挙だった。老いや病氣といったハンディを抱えて冒険に成功した三浦さん。その生き方は冒険家ではない私たちにも勇気を与えてくれる。信念と挑戦、あきらめない心があればどんな人にも冒険はある。

## 冒険もお金も一歩ずつが大事

三浦さんは、様々な冒険の中でお金に対する独自の考え方を持つようになったという。

「お金はトレーニングと同じで目標に向かって少しずつ積み重ねていくことが大事だと思います。父は、公務員で収入も限られていましたが、質素な暮らしの中で少しずつ貯金し、スキーヤーや山岳カメラマンの活動のためにお金を計画的に使っていました。私にとては、親という身近なお手本があったのです」。三浦さんは、お金をいかに有効に使っていくかも冒険で欠かさない要素であると訴える。「限られた資金の中で最高レベルの現地スタッフを確保し、酸素ボンベをはじめとするたくさんの道具も最適なものを揃えていく。その準備からすでに冒険は始まっています」

貯めることも大切だが、もっと大切なのは何に使うか。その目標に向かって一歩一歩を確かに歩み、最も価値のある使い方をしていく。お金に対しても三浦さんらしい視点がそこにある。

## 80歳——再びエベレストへ

現在、三浦さんは、再び大きな目標を持つている。それは80歳でもう一度エベレストの頂上に立つことだ。しかしその矢先、今年2月にスキー場で骨盤骨折という大アクシデントに見舞われる。

「入院した当初は少し体を動かすだけでも背全体に針をさされたような激痛が走りました。その中でエベレストの山中での苦しい生活を思い出しました。断崖絶壁にテントをぶら下げての宿泊、マイナス30度を超える極限の寒さ。死と隣り合わせのあの登山と比べれば天国じゃないか。そう自分に言い聞かせてがんばり、寝返りがうてたことや、一人でトイレに行けるようになったことなど、一つひとつ小さな回復を喜びました」

生活習慣病を抱えて70歳でエベレストに挑んだとき以上に、80歳でのエベレスト制覇を目指す今は、さらにマイナスからのスタート。しかし、三浦さんはこう語る。「冒険は未知の可能性への挑戦。だからアクシデントはあつて当然です。それはどんな人生でも同じです。大事なものは逃げずに挑むこと、あきらめないこと。そしてそれを成し遂げる喜びはどんな人でも体験できます。冒険は冒険家だけのものではありません。どの人生にも冒険があり、私たちはそれを達成し、喜びを分かち合える権利があるのですから」

# とても リスクの高い 運用商品の 見分け方、つきあい方

高いリスクを受け入れなければ、高いリターンを得ることはできないのは、投資の原則です。しかし、高すぎるリスクと無理をしてつきあう必要はありません。今回は、とてもリスクが高い運用商品の見分け方・つきあい方について考えてみたいと思います。

**運用商品には  
いろいろあるけれど…**

資産運用というと、とても危険なことをすると思っている人が多いようです。確かにリスクを取って資産運用をすると、元本割れする可能性が生じます。投資信託や株式などはその一例です。

とはいえ、一口に「元本割れリスク」

といっても、いろいろな大きさがあることはご存じですか？ 年間で数%程度の元本割れしかないと考えられる商品もあれば、年間30%程度の元本割れがありうる商品もあるのです。これらは株式や債券など投資する対象によって異なってきましたし、運用の方法によっても異なります。

資産運用の基本としては「高いリターンを得たければ高いリスクを受

け入れなければならない」というものがあります。いわゆる「ハイリスク・ハイリターン」というものです。しかし、高いリスクを取れば必ず高いリターンが得られるわけではありません。実際には高いリスクを取ると元本割れの可能性や程度も大きくなります。たとえば、株式運用は、大きく値上がりする可能性があるものの、やはり大きく値下がりする可能性

があるわけではあります。また、ハイリスク・ハイリターンではなく、「ハイリスク・ハイリターン」であることはしっかりと覚えておきましょう。

もあって、ハイリスク・ハイリターン」ではなく、「ハイリスク・ハイリターン」であることはしっかりと覚えておきましょう。

ところで、「高いリスク」といっても、30%どころか、資産の全額を損失する可能性がある運用方法もあるのです。こうした、きわめて高いリスクを取る資産運用については、あらかじめリスクの大きさをきちんと把握

●執筆者  
ファイナンシャルプランナー、  
消費生活アドバイザー

山崎 俊輔

やまさき・しゅんすけ  
フィナンシャル・ウィズダム代表。  
企業年金研究所、FP総研を経て  
独立。商工会議所年金教育セン  
ター主任研究員、企業年金連合会調  
査役(確定拠出年金担当)など歴任。  
インターネット、雑誌、講演等を通じ、  
若年層のライフプラン・投資教育  
に取り組んでいる。1972年生まれ。

したうえで、投資をするかどうか検討することがとても大切です。今回は「とてもリスクの高い」運用商品とのつきあい方について考えてみたいと思います。

## 「高いリスク」の商品にはこんな種類がある！

それでは、どのような商品が、とても「高いリスク」がある商品といえるでしょうか。一つの商品が複数の性格を持っている場合も多いので、ここではその性格でいくつか分類してみたいと思います。

### 1 投資対象が「投機」的な値動きをするもの

運用商品の投資する先が、そもそも投機的な値動きをするものとは、「投機的な値動き」とは、簡単にいうと、予想が困難で値動きがとても大きいことです。賭けの要素が混じっていて大当たりする人と大損する人が出るようなものも「投機的」といわれます。たとえば、同じ投資信託であっても、一般的な株式や債券を運用対象とするものと比べ、穀物やエネルギー等の資源価格を対象としていたりするものは値動きの幅が大きくなります。

ちです。これは、穀物やエネルギーの値動きそのものが、景気や気候とその見通しに大きく影響される仕組みだからです。

また、為替相場の変動が影響する商品は、値動きが投機的になりやすく、大きく上下動することになります。これは、為替相場が、その時点での二国間の貨幣価値の換算比率を表しており、常に多岐多様な要因によって変化し続けているためです。

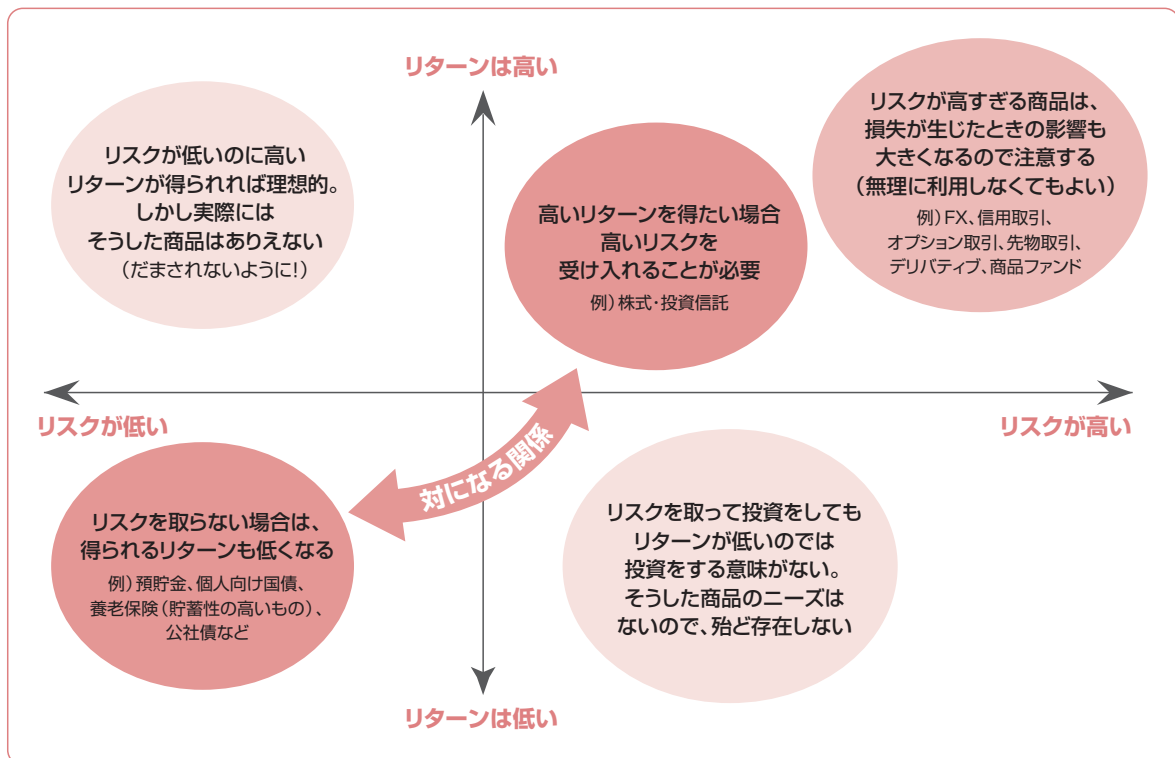
そのほか、同じ「投資信託」という商品でも、運用方針によってリスクの度合いは大きく異なります。たとえば、アクティブ運用と呼ばれる運用方針を採用している場合、マーケットの全体の平均的な値動きよりも、大きな値動きをする特性があります。

#### ※アクティブ運用とは

ファンドマネージャーがマーケット全体の平均的な動き（TOPIXや日経平均株価指数などのインデックスの動き）を上回るリターンを目指して、独自に投資対象銘柄、投資金額を決定して運用を行うもの

### 2 預ける資金の何倍もの投資ができるもの

最近、一般の人が「外為証拠金取引（FX取引）」を行っている例があります。これは、顧客が預けた資金





の何倍もの取引ができることが特徴で、このような取引方法を専門用語では「レバレッジをかける」と言います。レバレッジとは「てこ」を意味しており、小さな力で大きな効果が出せることを指しているのです。

ここで重要なのは、良い効果も大きく出ますが、悪い効果も大きく出るといことです。

たとえば外為証拠金取引においては、元手の10倍、100倍などといった取引が可能の場合があります(注)。100倍の場合、わずか10万円の手持ち資金があれば1000万円の取引ができることになります。手持ち資金がわずかでも高額の商品が買えるということですから、一見すると大チャンスのように思えます。しかし、その分リスクも高まっていることを忘れてしまいがちです。

仮にこの取引で、為替が10%円高に動いたとしたら資産の価値も10%下がったことになるのですが、取引は1000万円分していますからその10%で損失は100万円です。当初用意した資金(10万円)から比べると、なんと90万円の赤字です。つまり、100倍のレバレッジをかけた取引では、価格低下(10%)の影響も100倍になって返ってくるのです。

投資の初心者には、こうしたレバレッジを無理にかけける必要はありません。(注)最近金融庁では外為証拠金取引についてこの倍率(証拠金倍率)を25倍までに制限する規制を検討中です(21年6月現在)。

### 3 損失が無制限に拡大するおそれがあるもの

さらに、投資のやり方によっては、損失が無制限に拡大する可能性があります。ものもあり、これも注意が必要です。

たとえば、株式の信用取引においては、「買って、売る」だけではなく、「売って、買う」という売買が出来ます。実際には株を持っていなくても、株の権利を売ったことになって後日買い戻し、差額を精算するような仕組みです。株価が下がり続けているときも、利益を出せる仕組みとしてしばしば紹介されます。

たとえば、10万円の株を1株売ったこととして、後日買い戻す取引を行うとします。このとき、株価が8万円に下がったときに買い戻すことにすれば、差額の2万円が利益になります。便利な仕組みのようですが、逆に株価が上がると損失がどんどん広がってしまいます。株価がもし20万円になれば10万円の損ですし、株価が100万円になれば90万円の損ということになります(実際には、一定の損失が生じた段階で強制的

に損失確定されます)。

株式のほかにも、先物取引やオプション取引、外為証拠金取引などでも似たような取引が可能です。初心者が興味本位で運用するにはたいへん危険だということを知っておく必要があります。

### 4 一定の条件で、資産を全額損する可能性があるもの

ある条件を満たさなかった場合、投じた資産をすべて失うような仕組みになっているものもあります。これもとても高いリスクがある商品といえます。

仕立てた「カバードワラント」という仕組みのオプション取引があります。これは、一定期間内にある条件が満たされなかった場合には、資産の全額を失う条件が設定されています。上手に利益が得られる可能性がある一方、全額を失う可能性もあるわけですから。

こうした仕組み商品は、必ずしも商品名に「カバードワラント」と分りやすく標記されておらず、商品の仕組みをよくよくみると、そうした条件が付いているといった場合もあります。なんだか複雑で判りにくい仕組みの商品だなあ、と思ったら、こうしたとても高いリスクがある可能性が

大です。気をつけましょう。

## とてもリスクの高い運用商品とどうつきあう?

さて、こうした「とてもリスクの高い」運用商品が存在してはいけない、ということではありません。また、販売する業者が直ちに悪質であるとははいえませんが、いろいろな人の様々なニーズに応える形で、多種多様なリスクをもつ商品が提供されているからです(もちろん、リスクの度合いを隠して勧誘するような、悪質な販売をする業者もありますので、注意が必要です)。

しかし、自分にとって不要なリスクを取ってまで資産運用を行う必要はありません。「私は高いリスクの商品を利用したくない」、と考える場合、どのようにして対処すればいいでしょうか。

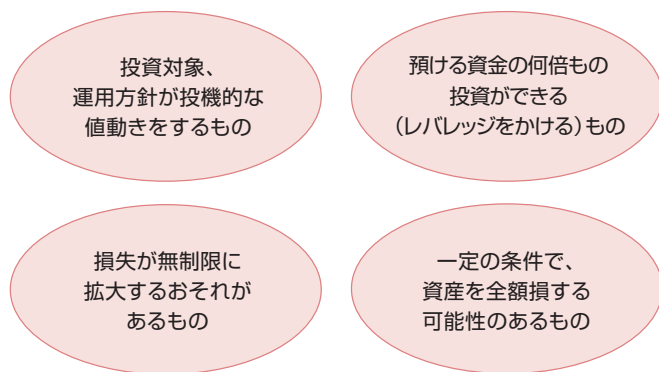
### 1 商品のしくみや条件をしっかり確認

まず、運用商品の仕組みや条件については必ずチェックすることから始めましょう。営業マンのセールストークを鵜のみにしてはいけません。特にどのような運用が行われる商品な

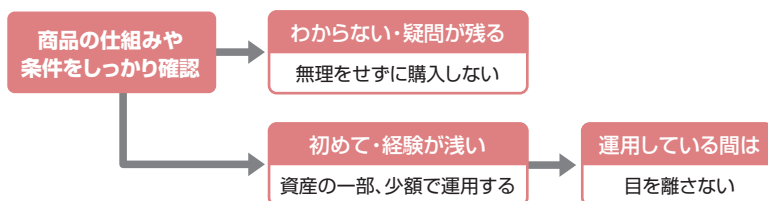


# とてもリスクの高い運用商品の見分け方、つきあい方

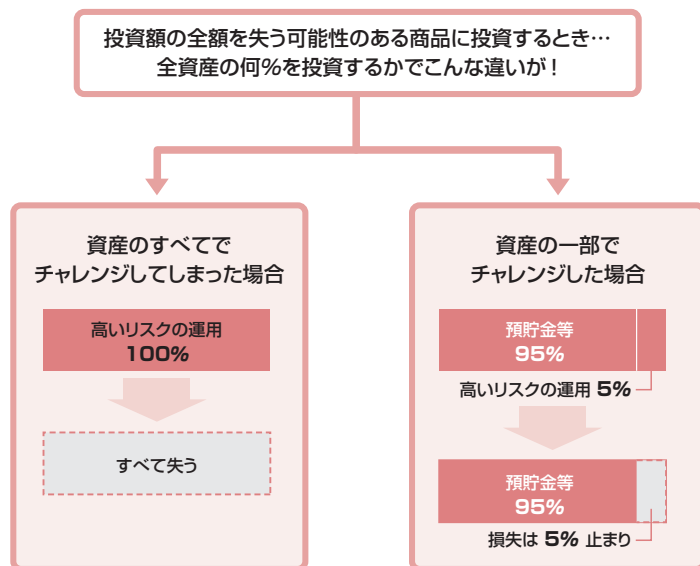
## ● リスクがとても大きい商品の特徴



## ● リスクがとても大きい商品とのつきあい方



## ● 少額でチャレンジすれば、ダメージも小さくなる



のか、解約の条件はどうなっているか（ペナルティはあるか）、どのようなリスクがあるのか（特に元本割れの可能性はどのようなどきにどの程度あるか）、についてはパンフレットを確認してください。パンフレットについては、最後のページに書かれているような小さな文字や表の部分にも目を

通してください。不明な点は口頭で確認を求めてください。  
このとき、運用のしくみが理解できない商品については、絶対に購入をしてはいけません。「プロに任せるのだから……」といった安易な気持ちで購入しても、損失が生じたときは自らが負うことになるだけです。

複雑な仕組みの商品だからといって、必ず儲かるわけではありませんので、注意してください。また、説明を求めても納得のいく回答が得られない業者についても契約をしてはいけません。  
このとき、「もしかしたら儲かるかもしれない……」という商品を見送る

ことがもつたないと思うことがありますが（セールストークでは、私たちのこうした葛藤に上手に入り込んでくれます）。もし悩んだ場合は、「買わない」という選択肢により、大損する可能性を堅実に回避したのだ、と自分に言い聞かせてください。「無理をして買わない」というのも資産運用に

おける重要な選択のひとつです。そして、私たちが自分で選ぶことのできる賢明な判断のひとつと考えてみてください。

## 2 チャレンジするときは 少額から

それでも、どうしてもチャレンジしてみたい、と思う人は「資産の一部分でチャレンジ」するにとどめておきましょう。なぜなら、購入金額を控えることで、リスクの度合いを自分で抑えることができるからです。

一般に、リスクが高い商品ほど、あなたの保有している全資産に占める購入比率は低くすることが望ましいといえます。仮に年間で50%下がる可能性がある商品の購入をするとしても、このとき全資産の80%にあたる金額を投資して、その分の価格が50%値下がりましたとすれば、資産全体でもマイナス40%の大打撃になります。ところが、全資産の20%しかその商品を購入しなければ、購入分の価値が半減しても、資産全体では10%の損失で食い止めることができるわけです。投資した資産をすべて失うおそれのある10倍のFXであっても、全資産の5%でチャレンジする程度なら、当然資産全体では5%の損失でと

どまります。

私たちはつい、大もうけのチャンスに目がくらんで、資産のほとんどをリスクの高い商品につき込んでしまいがちです。しかし、購入を控えめにするだけの理性が残っていれば、大きな損失を食い止めることはできるのです。自分の気持ちを上手に抑えてみてください。

## 3 チャレンジしたら 目は離さない

また、あえて高いリスクのある運用をする場合には、その値動きから目を離さないようにしましょう。たとえば、為替の市場は24時間世界中で動き続けています。自分は連休だからと3〜4日、まったくノーチェックであつた間に、大きく円高に振れたりすると、それだけで運用資産を失ってしまうことがあります。リスクの高い運用をする限りは自分の運用状況のチェックは怠らないようにしましょう。

「そんな運用はできないよ」と思うのであれば、そういう商品を購入しなればいわけです。

逆にいえば、「こうしたとても高いリスク」の商品を避けて運用方針を選択すれば、ゆつたりかまえた資産運用も可能、ということなのです。

## 「私のリスクとの つきあい方」を しっかり考えよう

さて、高いリスクの商品を避ける方法についていくつか紹介してきましたが、リスクがあることは必ずしも悪いことではありませんので誤解のないようにしてください。リスクとチャレンジは活力ある社会の発展に必要なものだからです。

個人の資産運用においても、ある程度のリスクを取った資産運用を行うことで、中長期的には上手な資産形成が実現できる可能性が高いといえます。しかし、個々人の運用において、とても高いリスクを取る必要は必ずしもありません。日々の生活と、毎日の仕事、私たちがとしては重要であり、これを脅かすような高いリスクを資産運用で取る必要はないからです。

リスクを一定程度に抑えつつ、リスクと上手につきあう運用方法としては、資産の過半は預貯金等で安全に確保しつつ、一部分でのみリスクにチャレンジすることが大切です。株式市場全体の値動きに連動する程度のリスクを取るインデックス運用の株式投資信託や個人向け国債を活用すれば、少額から購入できますし、損失割合も一定程度で収まります。

毎月コツコツと積み立てていくような投資（積立投資信託など）でもいいでしょう。いずれにしても、無理のない範囲でじっくりと運用を行うことが大切です。

「短期で、簡単に、確実にお金を増やしたい」と思うのは誰でも考えることです。しかし、運用はそう簡単なものではありません。「私はリスクとどうやってつきあうか」、皆さんも一度じっくり考えてみてください。

## コラム だまされないことにも注意

複雑な金融商品の仕組みを巧みに説明し、それがあなたにも確実な収益機会の可能性につながるかのように誤解させ、お金を集める悪質な業者もいます。業者によっては預かったお金を実際の運用に回していないところもありますので要注意です。

こうした悪質業者を避けるためには、業者の活動について営業マン以外の人の評判を調べるといいでしょう。悪質な業者については国民生活センターのホームページなどで事例が紹介されています。

また、高いリターン（たとえば月利10%以上）と安全確実（元本の保証）を同時にうたうような金融商品をセールスされた場合は、疑わしいと思ってほぼ間違いありません。過度に「安心」、「儲かる」と訴えるセールスには気をつけてください。

連載エッセイ				
く	ら	し	の	中
金	融	経	済	学
				第1回

# お茶屋の信用創造

「金融経済学」と聞くと、つい難しそうで敬遠しがちですね。

そもそも、ふだんの暮らしの中で、どんなふうに関係しているのでしょうか？

このコーナーでは、面白いストーリーとわかりやすいたとえで、身近な暮らしの中で役立っている金融や経済のしくみを紐解いてくれる梶井厚志先生のエッセイをお届けします。

## 京の花街上七軒

京都市中心部の北西、菅原道真公を祭る北野天満宮近くに、上七軒かみしちけんとよばれる場所がある。

室町時代、北野天満宮を再建するため、全国から資材が集められた。その時に余った材木で、天満宮の東側に七軒の家が建てられたことから、このあたりが上七軒と呼ばれるようになったとされる。上七軒は花街の一つで、いわゆるお茶屋ができたのは豊臣秀吉の時代である。京都の花街といえ、かつて新撰組が京都を闊歩していた時代には島原、現在には祇園がもっとも有名であろうが、歴史的に見れば上七軒がいちばん古い。

上七軒は西陣とよばれる地域のすぐ近くにある。江戸時代に西陣あたりが織物産業で栄えたころ、そこに隣接する上七軒も大いに

賑わった。現在の上下七軒界隈は、どちらかといえばひっそりとしていて往時の面影はないものの、それでもお茶屋は何軒かあつて、二十数名の芸妓・舞妓が在籍している。それゆえ今でも昔ながらの京風お茶屋遊びが楽しめるはずなのだが、京都のお茶屋というと「一見さんお断り」、すなわち誰かの紹介がないと入れてくれないという印象があり、興味があつてもなかなか近づきたい。

## お茶屋バー？

もう何年か前のことになる。同僚二人と西陣あたりにいたところ、その一人が、敷居の高そうな花街でも最近では「お茶屋バー」というのがあり、普通のショット・バーの感覚で、紹介がなくても気軽に入れておもしろいというから、ならばと三人ですぐ近くの上七軒に足を向

京都大学 経済研究所 教授  
梶井 厚志 かじい・あつし

1963年広島県生まれ。1986年一橋大学経済学部卒業。1991年ハーバード大学大学院卒業。Ph.D.in Economics。ペンシルバニア大学助教授、筑波大学社会工学系助教授、大阪大学社会経済研究所を経て、現在京都大学 経済研究所 教授  
著書：『ミクロ経済学：戦略的アプローチ』（梶井厚志、松井彰彦共著）日本評論社、『戦略的思考の技術：ゲーム理論を実践する』『故事成語でわかる 経済学のキーワード』ともに中央公論新社など



けた。ところが、あたりには京町屋風の家がひっそりと並んでいるだけで、どこに肝心の「お茶屋バー」なるものがあるのか判然としない。そのうちに発案者が、看板も何もない家の引き戸をがらりと開けてずかずかと入るから、恐る恐るついていった。

中に入ると、京風の外観からは想像できない黒を基調とした洋風の部屋である。左手に立派なカウンターがあり酒が並んでいて、なるほどこれは間違いなくバーである。カウンターの向こう側には、着物姿の妙齡の女性が一人立っている。客の乱入に気づいて、奥から男性ができた。この人がバーのマスター、女性は芸妓の見習だとのこと。

酒を頼んでしばらく会話をしていたら、今夜はほかに客もないことだし、内輪のこととして舞妓の半玉をここに呼びましょうかとマスターが言いだした。半玉とは修行中の見習いということで、一人前ではないから祝儀を包む必要はありません。ただ、未熟者ゆえの失礼はご容赦ねがいますという。

ご祝儀を包む必要がなくても、特殊なサービスにたいして何らかの対価が発生しても不思議はない。しかし、それに関する費用便益を冷静に分析するには、私たちは勢いづきすぎていた。二つ返事でその半玉さんと呼んでもいい、カウンターの見習芸妓さんとあわせて待

らせたものであるが、いかなるやり取りがなされたのかは本論に全く無関係なので省く。

## 信用の気づきにくい経済価値

さて、もう日付も変わろうかというころ、女の子たちは明日の朝早くからお稽古があるから休ませてもらいなさいという声がかかり、かわいらしく挨拶をした後でこの二人は奥へと消えてしまった。

そんなところから今度は現実がぼちぼちと始まる。

頼んだ焼酎のボトルはいつのまにか空になっていて、連れの二人はすでにぐちゃぐちゃに酔っていた。なかでは私が最年長で、あきらかに勘定を頼む立場にあった。ところがこのマスターが、代金を請求しようとしめない。すでに名刺をもらっているから、月末に請求いたしますというようなことを、慇懃にいうのである。せめて金額だけでも教えてくれと言っても、とりあわない。言ったところで、今の持ち金程度では到底払いきれないということであろうか。私は即座に酔いからさめた。

彼の言い分はこうだ。ここで代金の清算をすることは簡単だが、それでは皆さんと店との縁もそこで清算されてしまう。遊びのお金は月末に請求し、客は翌月になったら代金を持つ

てまた店にやってくるもので、この町では昔からそうやって縁というものが大切にされてきた。代金をその場で請求するなど、自ら大切な縁を切るような不細工なことではできない。

なるほどこれには一理ある。お店の立場からすると、いつ来るかわからない客をあてにするよりも、定期的に必ず現れてくれる常連客をかかえるほうが商売の安定をはかることができる。つまり、あえて現金で即座に決済するのではなく、相手の信用を頼みにして後日に代金を受け取る掛け売りをしたほうが、かえ



# お茶屋の信用創造

て得になるというのである。

これは普段は気づきにくい、信用の経済学的効果ではあるまいか。通常経済学で信用供与というと、将来ならば収益が見込まれるが現在は資金が不足している経済主体が、将来必ず返すという信用をもつて現在金を借りるという成り行きを考えるものだから、私は上七軒という意外な場所ですさな発見をしたという気分になったものである。

## 花街の信用創造システム

しかし、肝心の私たちの信用はというと、そもそもその店に行ったのは初めてで、私の名刺といえばパソコンで自作した子供のおもちゃのようなものである。にもかかわらずマスターは、私たちの職業は話しぶりやいでたちからわかることで、代金は大学の先生方ならたやすく払える金額ですからというだけで、頑として金額の請求をしないのである。

そんなやり取りをしているうちに、彼からまた面白い話を聞いた。「一見さんお断り」で、紹介がないと名の通ったお茶屋には上がれないというのは正しいが、紹介というのは単に名前を取り次ぐだけではなく、支払を保証するものだということである。保証というのは、客が翌月に払いを持って現れなかったならば、その

紹介者が責任を取って支払いをするということだそうだ。もちろん、支払い能力があってもしきたりを守つてきれいに遊べないような人を紹介すると、紹介者の信用が落ちる。「一見さんお断り」というのは、特別な仲間内のためだけに遊び場を確保するという趣旨ではなく、信用力があつて末永く遊びを続けられるような人を選びだして維持するための工夫だというのである。

ここでも、信用というものが付加価値を生み出す様子を垣間見られ、私は大いに感心した。すなわち掛け売りをするほうが店の利益にかなうが、そのためには支払い不履行という信用リスクをものに店が抱えることになる。ところが、紹介者が信用保証をするというシステムが確立されてしまえば、店は信用リスクを軽減することができ、安心して掛け売りができるようになるというわけだ。

## お茶屋バー遊びの結末

さて、大いに学んだのはいいが、肝心の授業料は一体いくらなのかわからずじまいで、私たちは店を後にした。翌日、酔いがさめてから冷静に考えると、店の中で随分と酒を飲み、しかも舞妓と芸妓を至近距離に侍らせて二時間以上も粘ったことになっている。店を探し当て

た当人に聞くと、そういう店があるのどこかで読んだというくらいで、勘定の相場などまったく知らないという乱暴な話なのである。

それから月末まで、私は毎日眠れない夜を過ごした。このような度胸のなさでは、茶屋遊びなど一生おぼつかないであろう。請求書は、やはり来た。金額は、われわれが想定した最悪のシナリオではじき出した金額よりも大分安かった。ただ、とことん不細工な私は、銀行振り込みで支払いをしてしまったから縁が切れた。今では大変反省している。

連載エッセイ 第1回

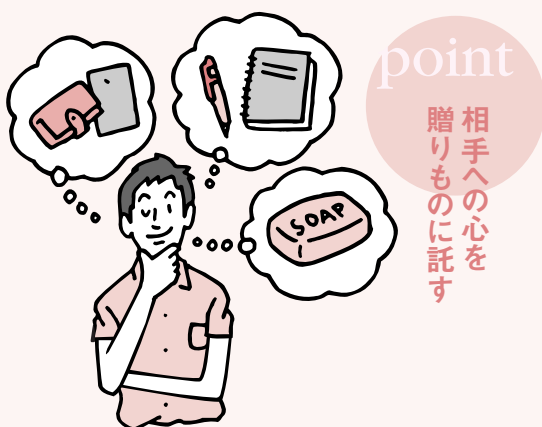
くらしの中の金融経済学

# 贈りものの編

人が人を感じる心。その心が日々の暮らしの中で育まれ、かたちとなって根付いているのが、マナーや習慣です。このコーナーでは、その「おもいやり」にスポットをあてて、シリーズで紹介していきます。今回は、おもいやりの心が生んだ、日本の美しい贈答の習慣について、その起源や心遣いのポイントを中心にご紹介する「贈りものの編」講座です。

## 贈りものの原点は「心」を贈る「こと」

さりげない心遣いで、贈りものがより素晴らしいものになります



point  
相手への心を  
贈りものに託す

贈りものは、相手への心を形に表したものだ。心とマッチした品を選びましょう。たとえば「くつろぎ」の印象を贈るには嗜好品が、「清潔」のイメージを伝えるには石鹸などがピッタリ。新入生に筆記用具、新社会人に名刺入れなど、新生活を期待させるものもいいですね。



point  
タイミングが大切な  
お中元・お歳暮

お中元は7月上旬～中旬、お歳暮は12月中旬～下旬に贈るのが最適ですが、その品がどう利用されるかを考えてタイミングを決めるとなおベター。お正月用のお酒など、先方でも準備すると思われるものは、前もってお贈りすることを伝えるとさらに喜ばれます。



正月のお年玉から初夏のお中元、年末のお歳暮にいたるまで、日本には「年のうち何度も」贈りものの「をやりとりする行事があります。さらにいただいたお祝いに」お返し「をすることもありますが、こちらも世界では珍しい習慣。たとえば結婚式の引き出物や内祝いといった行事は、欧米には見られないようです。日本人は、贈りものの好きな民族だといえるでしょう。

このような「贈答の文化」は、お互いを支えあっていた地域社会が生み出したものです。冠婚葬祭や病気の見舞いには食べ物やお金を提供しあい、余ったものをお返しとして配るなど、もちつもたれつで暮らしてきたものが、いつしか感謝の気持ちと今後の変わらぬ関係発展を願う贈りものやお返し「の習慣に変わり、現在に受け継がれてきました。

こうして発展してきた贈答の文化も、ライフスタイルの変化とともに少しずつ形を変えています。はじめは相手を直接訪問して渡していたものが、やがてデパートなどのギフトにとつてかわり、手紙や電話などで簡単なあいさつをかわすようになりました。さらに最近では、手軽なパソコンの電子メールや携帯



point



さりげない品を選ぶ  
心遣い

病気のお見舞いに鉢植えなど、広く知られているタブーのほかに、趣味性の強いものや肌に直接つける品なども避けた方がいいでしょう。一般的には、日用品や雑貨類、食品などさりげないものが喜ばれます。奇をてらいすぎないのも、贈り手のマナーなのです。

point



嬉しさを分かちあう  
リアクション

贈った品が喜んでもらえると、こちらの気持ちも受け入れられたようで嬉しくなりますね。親しい間柄の場合、受け取ったその場で包装をとくこともあります。開けた瞬間の喜びは贈り手にも伝わるもの。喜びを分かちあえば、お互い記憶に残る贈りものになるでしょう。

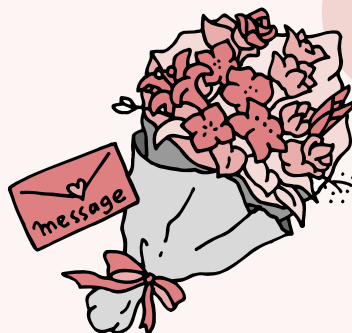
point



メールでも伝わる  
おもいやりの気持ち

お祝い返しという文化。この伝統を現代風にアレンジしてみましょう。いただいた品に義理第一に返礼するのではなく、たとえば旅先での美しい風景写真を添えたメールでのお礼を送ってみては。「あのときはありがとう」の気持ちがこもったお礼はたとえメールでも嬉しいものです。

point



アイテムをそえて  
よりスマートに

より明確に気持ちを伝えたいなら、メッセージカードがおすすめ。カードはあとに残されることが多く、こちらの気持ちも色あせないでしょう。銭別やお祝いにお金を贈る場合には、花束などをそえると仰々しく感じません。アイテム選びも贈り手のセンスなのです。

## COLUMN

## 先祖への感謝の心が生んだ、お中元とお歳暮

わが国独特の習慣といわれるお中元とお歳暮。その原点には、祖先や両親への感謝の気持ちがあるようです。お中元は、祖先の霊をなぐさめる仏教のお盆の行事と、道教の祭日「中元」とが混ざったもので、お盆に集まった親戚縁者にお礼の品をふるまうようになったことがきっかけです。またお歳暮も、他家に嫁いだ者や奉公に出ていた者などが年末に帰省するとき、正月のお供えものを持って帰ったことから広まりました。これらが転じて、お世話になった人に感謝の気持ちを込めて品物を贈りあう、現在のお中元やお歳暮に発展していったようです。

電話を使い、お祝い状やお礼状などのグリーティングカードを贈る人も増えてきています。

贈りものやお返しは、お互いを支えあい、苦楽を分かちあってきた伝統が生み出した、すばらしい文化です。長い歳月とともに私たちの心に育まれてきた、おもいやりの心。これからも大切にしていきたいものです。

親子でたのしく学べる  
金融教育のイベント

# 金融教育 フェスティバルを 全国10カ所で 開催します

金融広報中央委員会は、金融や経済の基礎を  
たのしく学べる金融教育体験型イベントを、  
平成21年度中に全国10カ所で開催いたします。

## 開催目的

子どもから大人までの幅広い年齢層  
に対し、金融教育に関して興味を持ち、  
理解を深める機会を提供するとともに、  
学校教育関係者に対し、学校における金  
融教育の内容や実践的な指導方法に関  
する研修の場を提供することを目的と  
して、「おかね」や金融経済に関する体験  
的な学習要素を盛り込んだイベント・セ  
ミナーを開催いたします。

## 開催概要

### 【参加対象】

一般、学校教育関係者、児童および保護者  
(参加費無料)

### 【開催予定】

平成21年8月から平成22年2月の間、  
兵庫、沖縄、愛媛、秋田、東京、新潟、愛知、  
埼玉、長崎、広島にて、計10回開催  
(詳細別表)

## 開催プログラム

### ①暮らしに役立つ講演会(大人向け)

〈午前中〉

知名度の高い有識者を講師に迎え、  
金融知識普及または金融教育をテー  
マとする90分の講演会を行います。

### ②教員向けセミナー

〈東京会場を除く、午後〉

教員、および教職を目指す大学生・大  
学院生を対象に、講話、実践報告、ワー



平成20年11月に実施した  
「金融教育フェスティバル in the Galaxy」の様子



中央銀行業務体験コーナー

子どもたちが中央銀行の臨時職員として、貨幣の鑑査業務などを体験しました



オリジナル貯金箱づくり

車型、新幹線型のどちらかを選び、好きな色に塗り組み立て、自分だけの貯金箱作り挑戦しました

別表：開催予定

日程	名称	開催地
平成21年 8月 9日(日)	金融教育フェスティバル《兵庫》	兵庫県神戸市
平成21年 8月22日(土)	金融教育フェスティバル《沖縄》	沖縄県宜野湾市
平成21年 9月12日(土)	金融教育フェスティバル《愛媛》	愛媛県松山市
平成21年10月25日(日)	金融教育フェスティバル《秋田》	秋田県秋田市
平成21年11月 3日(祝)	金融教育フェスティバル《東京》	東京都千代田区
平成21年12月12日(土)	金融教育フェスティバル《新潟》	新潟県新潟市
平成21年12月26日(土)	金融教育フェスティバル《愛知》	愛知県名古屋市
平成22年 1月 9日(土)	金融教育フェスティバル《埼玉》	埼玉県さいたま市
平成22年 1月16日(土)	金融教育フェスティバル《長崎》	長崎県長崎市
平成22年 2月 6日(土)	金融教育フェスティバル《広島》	広島県広島市

クシヨップ等を行います。

③ 親子のためのおかねの広場

(小学生と保護者向け)〈終日〉

・ガチャピン&ムックとおかねのことを学ぼう

・おかねの仕事体験

(中央銀行業務の体験コーナー)

・カレーづくりゲーム

・おかねについて学ぶコーナー

・貯金箱づくりコーナー

・おかねクイズ

・ビデオ上映

④ 協力団体講師による

金融教育セミナー(大人向け)

〈東京会場のみ、終日〉

金融広報中央委員会の関係・協力団

体を中心に講師を依頼し、金融・経済・

教育に関する大人向けセミナー(60分

程度)を20コマ開催いたします。

⑤ 資料提供コーナー〈終日〉

金融知識や金融教育に関する刊行物  
を提供いたします。

【主催】

金融広報中央委員会、

開催地の都県金融広報委員会

■ 金融教育フェスティバルについて

金融広報中央委員会は、平成17年度  
活動方針の中で『金融教育元年』を掲

げて以来、毎年度「金融教育フェスティ  
バル」を東京で開催してまいりました。  
5回目となる平成21年度は、全国10都  
市で開催いたします。

■ 参加お申し込み方法

知るばるとホームページ(<http://www.shiruboru.jp/>)でイベントの内容や参加  
ご希望のコーナーの時間帯などをご確認  
の上、事務局までお申し込みください。  
皆様のご参加をお待ちしています。

金融教育フェスティバル事務局  
電話…0120(165)2117  
(受付時間 平日10時～18時)



# 「ひと」「もの」を大切にすることを育む体験学習

— 幼児期に身に付ける「社会性の芽」—

## 金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。今回は、新潟県燕市立燕西幼稚園を訪ね、幼児がどのように社会のしくみやルールを学んでいるのか、園児たちの活動の様子と横田和子副園長から伺ったお話を紹介します。

### 幼児が実践できる金融教育の活動とねらい

幼稚園が実践する金融教育には、どのような取り組みが考えられるでしょうか。幼児には授業形式の指導はなじまないため、体験を通して自然と身に付けさせる工夫が必要です。

燕西幼稚園は平成17・18年度、新潟県金融広報委員会から研究校の委嘱を受け、金融教育活動の「幼稚園における年間指導計画例」を作成しました。「廃品利用活動」「栽培活動」「勤労活動」「買い物活動」に分けられた活動の狙いと内容は下表のようなものです。

#### 【表】金銭教育活動のねらい

##### 廃品利用活動

身の回りの物を使って、試したり、工夫したりしながら制作活動を楽しみ、物を大切に扱うことを知る。

##### 栽培活動

収穫を楽しみに苗を植えたり、草取りや水やりをしたりしながら収穫する喜びを味わう。

##### 勤労活動

先生や友だちと一緒に草取りや水やり、片付けなどをし、自分の体を動かして働く(手伝う)充実感を味わう。

##### 買い物活動

欲しいものを買うときは、お金が必要であることを知る。買い物をするときのマナーやルールを知る。

【燕西幼稚園「金銭教育公開保育 in燕 研究紀要」より】

### 栽培活動が収穫の喜びに

「ただ、金融教育にあたる活動を系統立てて抽出し、4つの分野に分類して新たな指導計画を立案したことは、これまでにない取り組みです」と横田副園長は説明してくださいました。年間計画として学期ごとの活動内容が具体的に立案されています。

この計画は、燕市の「幼稚園教育年間指導計画案」をベースにしたもので、市内では他の幼稚園も同様の活動を行っています。

5月の連休明け、燕西幼稚園では園庭にある自慢の藤の花が盛りを迎えていました。その藤棚の横には、4月に植えたジャガイモが芽を出し、大きいものはすでに20センチほどに。その傍らで、年長の5歳児クラスの子どもたち22人がプランターにキュウリ、ピーマン、ミニトマトの苗を植え、枝豆の種を撒きました。「さあ、お水をあげようか」と言われれば、ジョウロを持って水道を何度も

新潟県  
つばめ つばめにし  
燕市立燕西幼稚園  
よこたかずこ  
横田和子副園長



玄関の目立つところに大きく貼ってあるポスターには「げんきよくあいさつしよう!」「おかたづけみんなでがんばろう!」「よいこのおへんじ『はい!』」「おはなはし、しずかにきこう!」と書いてあり、園児たちもその意味をよく知っています

往復して水やりに駆け回る子、「あらあら、おイモが見えちゃつてる!」土をかけてあげようね」と言えば、水をやりすぎてむき出しになった種イモに土をかぶせてあげる子、「苗が倒れないようにしてあげてね」と苗に添え木を当てると、紐で苗と添え木を器用に結ぶ子、「誰か野菜のカードを作つてね!」と声を掛ければ、プランターに添える野菜の絵を描き始める子たち。真つ赤な実と緑のヘタが付いた絵の下にはしっかりと「とまと」とも書いてありました。

子どもたちは一見、思い思いの行動をしているようにも見えますが、先生の言葉に敏感に反応しながら、自分たちの役割をしっかりとこなしていきます。

この「栽培活動」は7月に収穫して、8月にその野菜でカレーとサラダを作つて食べるまで続きます。



「毎日本水やりをしながら、野菜によって違う色や形の花が咲いたり、実が大きくなる様子を観察します。茎を2本だけに間引いたり、イモを地面から出さないなど、先生や地域の方に栽培方法を教わり、生長を

見守っていきます。そして、8月のカレーパーティーでは3歳児がイモ洗い、4歳児はニンジン洗いと皮むき、5歳児は材料切りなど、全員で仕事を分担してカレー作りに挑戦します。火や刃物を扱うため、もちろん保護者の理解と協力も欠かせません」

また、プランターで育てている枝豆は収穫後、各家庭に持ち帰ってもらう予定です。

「枝豆は一粒の種から多くの実をつけます。そんな収穫の喜びを体験した後には、その作物を湯がいたり、ずんだ餅にする家庭もあります。育てたものを家族で食べることが食育にもつながっていきます」

### 言葉を掛けてお買い物

カレーパーティーには育てた野菜以



5月の連休明け、5歳児22名が先生から種の名前を教えてもらいながら蒔いています。園児たちもそれをしっかり覚えており、いろいろな作物一つひとつを説明することができるようになります

外の食材も必要です。そのため、8月には、「買い物活動」も行われます。肉やカレー粉、ニンジンやタマネギなどカレー作りに必要なものを、近くのスーパーを利用したり、燕市内で市の立つ日に市場見学を兼ねて買い出しに行き、5歳児が準備をします。

必要なものを必要なだけ買うこと、あるいは何でも欲しいものを買うのではなく、決められた予算内で買うことについての学びとしては、このほかに「遠

足のおやつは200円以内で」と決めて、親子で話し合いながら用意してもらう取り組みでも実践しています。

また、毎年3学期は近くのコンビニエンスストアの協力により、園内に「コンビニ出張販売店」が出現し、お買い物体験。

「事前に子どもたちは、自分が食べたい、肉まん、あんまん、カレーまんのカードを作つて準備をして、楽しみにしています。カードを出しながら『肉まん、ください』、肉まんを受け取つて『ありがとう』と言える、言葉のやりとりを学ぶ良い機会なのです。知らない大人を前にすると言えない子もいるし、緊張してカードと違った注文をする子もいて、そこをお店の方や先生がフォローしながらお買い物を体験します」

こうした活動の成果か、園にあるカートのオモチャの使い方にも変化があるとか。昔は、ベビーカーに見立てて人形を乗せて遊ぶ子が多かったものが、今は歩きながらいろいろな物を積み込み、お買い物ごっこをする子が増えているそうです。

「普段の生活では、家族でスーパ―を利用することが増えたため、お店

の人と話をしながら買い物をする機会は格段に減っているんですね。ですから、こうした『ください』『ありがとう』を経験することも大切です」

誰かに何かをもらつても、「ありがとう」が言えない子、全員一度に働きかけると「言われているのは自分じゃない」とばかりに何も反応を示さない子どもが増えているそうです。

「核家族が増えたせい、祖父母や家族が多ければ自然に身に付くようなことを体験を通して学ぶ機会が、少なくなつてきています。集団の中で気持ちよくコミュニケーションを取るには、挨拶と返事が一番大切。そんな基本的なことこそ、思いやりの芽を育てるのです」

### 子どもたちの モチベーションを高める “保護者と一緒”

「廃品利用活動」は家庭から出る資源ゴミを利用して、子どもたちの工作などに活用する取り組みです。

3歳児は牛乳パックの空き容器を使い、背もたれ付きのイスを作ります。昨年は保護者の協力で218個の牛乳パックが集まりました。

「子どもたちは空き箱を切り開いたり、くついたりしながら、はさみの

使い方を覚え、セロテープをうまく使えるようになっていきます。いくつもの牛乳パックをつなげていくうちにイスらしくなつてきて、さらに模様を貼り付けていくと、どんどん愛着もわい



水をやる子、添木をする子、苗を植える子、立て札に野菜の絵を描く子など自分でやりたいことを率先して選んでいます



保護者向けの不定期のおたよりです。3歳児、4歳児、5歳児用それぞれに、行事の際の連絡用に使ったり、イベントや出来事を伝えるために、先生たちが写真やイラストを使いながら手作りで仕上げています



ていくようです。作品展では、嬉しうに保護者に自慢する姿が見られましたよ」

同様に、4歳児は段ボールを利用してオモチャ箱。5歳児はペットボトルで輪投げを作りました。

「勤労活動」はガラス拭きや園庭の草取りが主な活動です。緑と土の園庭には毎年多くの雑草が根を張ります。園庭の草が伸びてくると、

保護者の方が草取りに参加しま

すが、その際は子どもたちも、親御さんが来るからと、ふだんより積極的

に草取りに草運びに大活躍。「いっ

ぱい草をとろうね！」と、あちこちで親子の張り

きる様子が見られる、ほのほのとしたひとときです。

「廃品集めも草取りも、保護者の皆さんと一緒に資源を再利用して

物を大切に扱ったり、汗を流して働くことが、子どもたちには、楽しい体験」として強く印象付けられていくようですね」

### 金融教育が生み出す変化を期待に変えて

毎日野菜の生長を見守りながら、水やりの大切さや収穫の喜びを体験することで、育てているものを大事にする心が育っています。

園で育てたキュウリやトマトなら食べられる。最初はそんなスタートでもいいのかもしれない。給食に「園庭で育てているのと同じ野菜が入っているよ！」と先生が言うだけで相当印象は異なるのでしょうか。子どもたちは他の野菜よりずっと親しみを口にして運んでくれます。

また、保護者が廃品を大切に扱い、それで工作を行うことが、子どもたちの物への眼差しを変えていくことも教育現場で目の当たりにすることができます。

「子どもたちは日々の成長のなかで、自分が『できた』『わかった』時にもっと嬉しそうに瞳を輝かせてく

れます。たとえば、3歳児から5歳児までが一緒に過ごす時間は、年下の子が『お兄ちゃんのように、あんなふうに縄跳びを跳んでみたい！』などと興味を掻き立てられて、子ども同士がぐつと接近する機会です。下級生が上級生に憧れて目標とし、上級生がそんな下級生の面倒を見てあげられる、そんな人間関係が育つ教育環境作りが一つの理想だと考えています。また今後も、多くの体験を重ねるなかで、挨拶やお礼の言葉をしっかりと伝える子どもたちを育てていこうと思います」

言葉掛けが何より大切——と話す横田先生。時代の変化のなかで変わっていく親や子どもたちの様子を肌感覚で知っているからこそ、ブレのない軸をお持ちなのでしょう。「まっすぐ目を見て『おはようございます！』と元気に挨拶しましょう」「『いただきます』が言えても『ごちそうさま』を忘れるようではいけませんよ。子どもたちに向かつて優しく語りかける、そんな日常の風景の“基本の繰り返し”の中にこそ身に付く社会のしくみやルールがあるのだということを、横田先生の言葉から感じます。

## 金融教育の現場レポート

## 「ひと」「もの」を大切する心を育む体験学習

— 幼児期に身に付ける「社会性の芽」—

新潟県

燕市立燕西幼稚園 横田和子副園長

# 水とともに生きる文化

ぐじょうはちまん  
岐阜県郡上八幡

豊かな自然と四季に恵まれた日本。その中で、それぞれの風土で独自に発展し、有形なもの、無形なものが相俟って、多様にはぐくまれてきた貴重な文化があります。今回は湧き出る名水とともに生きる人々のくらし、そしてその名水にはぐくまれる染め物についてお伝えします。

## 水とともに生きる

名水の町として知られる郡上八幡は、鵜飼いでも有名な長良川の上流にあり、奥美濃山地から流れ出る吉田川、小駄良川と3つの清流が合流するなど恵まれた自然に囲まれた土地柄です。ここでは古くから豊富な湧き水をくらしの中に巧みに取り入れてきました。

そのひとつに“水舟”があります。これは高さの異なる水槽が2層または3層連なったもので、一番高いところは飲用に、次の水槽では野菜や果物を冷やしたり食べ物を洗い、一番下の水槽では使い終わった食器や鍋を洗います。洗い流された食べカスなどは下方の池に流れこみ魚の餌となり、魚や微生物によって浄化された池の水が川に流れこむという、循環



「藍染め」には天然の防虫効果があり、衣類の保存に使われ、また藍染めの古式の製法である正藍染めは、永く使うほど藍染めの良さが出てきます。



もち米糊で輪郭を描き、大豆汁に溶かした顔料で生地を染める「カチン染め」。鯉のぼりは子どもたちの健やかな成長を願っています。



システムになっているのです。

上下水道が普及した現在もなお、この水舟を利用して残った家が残り、街角に置かれた水舟が、観光客ののどを潤しています。

また、郡上八幡では町中いたるところに用水が流れています。朝には家の前の水路に堰を立てて水を溜め、その水を花にまき、午後、学校帰りの子どもたちが、楽しそうに水と遊ぶ風景があちこちで見られます。「カワド」と呼ばれる洗い場で、主婦たちが「ごやか」におしゃべりしている風景も。水がこの町のくらしとコミュニティをつないでいるのです。

豊かな自然と住む人々が協力しあって守ってきたこの名水は、もうひとつ、伝統産業である「郡上本染」にとってもなくてはならないものです。

## 鮮やかな藍を 浮かび上がらせる水

郡上本染は400年以上も前から受け継がれている藍染め、カチン染めからなる伝統技法で、岐阜県指定の重要無形文化財です。化学染料が大半を占めるいまなお、「藍染め」では藍玉・木灰・石灰・麩など自然の材料を土間に埋め込まれたかめの中で醸成する古来の方法によって、

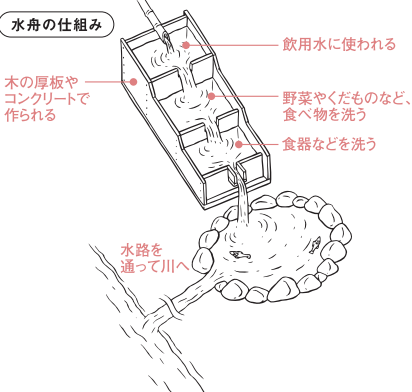


郡上本染のひとつの手法「カチン染め」により染め上げた鯉のぼりは、清流吉田川を流れる冷たい雪解け水で晒されます。その水は生地をひき締め、鮮やかな色彩を際立たせ、色落ちや退色もしにくいのです。



「らし」を見ることが出来ます。染め上がった鯉のぼりの糊を洗い落としながら冷たい川の水に晒すことで、生地を引き締め、鮮やかな色彩が浮かび上がります。江戸時代から続くこの寒ざらしは、染め物を仕上げるという工程のひとつにとどまらず、子どもたちの健やかな成長を願う大切な行事なのです。

鯉のぼりが空に舞う日、山々は新緑におおわれます。その緑に降る雨が豊かでおいしい水となり、自然が循環していく。そんな自然の恵みである水をくらしの中で工夫しながら活かし、染め物をはぐくむ。郡上八幡には水とともに生きる人々の文化があるのです。



野菜を洗ったり、スイカを冷やしたり、いまでも水舟が活躍しています。

資料・写真提供：渡辺染物店  
水舟写真提供：小俣康男



# 「株式会社」ってなんだろう?

誰でも話題にしたことのある、あの経済用語や経済制度。でも、詳しく聞かれて、慌てたことはありませんか?  
このコーナーは、そんな経済のしくみを、初心にかえってゼロから勉強していきます。  
今回は「株式会社」について知ってみましょう。

## 「株式会社」って何?

世の中を見渡すと、会社には「有限会社」「合資会社」など、いくつかの形態があります。会社の規模や目的によって、適した形態で作られました。中でも最も一般的なのが、「株式会社」です。

「株式会社」とは、「株」方式で成立している会社のことです。「株」を使って作った会社なんですね。その前に、そもそも「株」って何でしょう? 株とは、「その企業にお金を出資したこと」の証明書です。会社を作り、経営していくためには元手(「資本」といいます)が必要です。その元手を他人に出してもらう時に株を発行し、お金を出してもらった証明とします。

お金を出した人は株を受け取り、「株主」となつてその会社の「オーナー」になります。そして株主は、その会社が儲かったら分け前(「配当」といいます)をもらうことができます。優良企業であれば、たくさん配当をもらえるので、出資した株主は儲かる。だから出資するのです。

優良企業の株は、たくさん配当をもらえるので、みんながほしがります。その結果、「株」自体が売買され、値段(「株価」)がつくようになります。今では、配当よりも株価の値動きで儲けることが目的で株を買う人が大半になっていますので、「株」は金融投資の対象という見られ方をされます。でも、もともとは単にその会社に出資した証明書にすぎません。

また、株主は、その会社をどういう方針で経営していくかについて口を出す権利があります。重要事項を決める権利があるのです。一見、決定権は社長が全て持っているように思いますが、そうではありません。株主が決定権を持っているのです。重要なことは出資したメンバーみんなが集まって決めます。それが「株主総会」です。社長はこの株主総会で「こういうことをしようと思います。よろしいでしょうか?」と株主の判断を仰ぎ、会社経営の方針や重要な決定をしています。このように運営されているのが「株式会社」です。

## なぜ株式会社ができたの?

株式会社では、株主みんなの意見を取りまとめなければなりません。賛成意見と反対意見とその都度擦り合わせて、反対する株主を説得しなければなりません。これは実際、非常に面倒な作業です。

だったら、株式会社ではなくて、合資会社や合

### 有限会社

株式会社のように周りの人から出資を募って経営します。ただし、少人数からしか出資を受けず、簡単に会社を設立することができます。

※2006年の新会社法施行後、有限会社の制度は廃止され、新しく有限会社を作ることではできなくなりました。

### 合同会社

新会社法施行後、認められた新しい制度で、「有限責任<sup>※</sup>」で運営できます。また出資した金額に関わらず、権限や利益配分を自由に決めることができ、例えば「お金は出さないけどノウハウを提供する人」の配当を高くすることもできます。

### 合資会社

他の会社形態と比べて、設立費用が少なく、また会社を運営していくための決まりも少ないのが合資会社です。2人以上の出資者がいれば作れますが、代表者は「無限責任<sup>※</sup>」を負います。

### 合名会社

無限責任<sup>※</sup>を負う社員のみで構成されている会社。現在では、家族経営の商店など、一部の小規模な会社で採用されています。

※有限責任:会社が赤字になった場合、自分が出資したお金が戻ってこないだけで、それ以上は負担しない  
※無限責任:会社が赤字になった場合、最後の1円まで借金を返済する責任がある

### こぐれ たいち 木暮 太一

1977年生まれ。慶應義塾大学卒業後富士フィルム株式会社、株式会社サイバーエージェントを経て大手出版社に勤務。学問の世界からではなく、ビジネスマンの視点から読んでもすぐに理解できる経済書の執筆活動にいらしている。



同会社にすればよくないですか？

でもそれではダメでした。経済が発展すると、もつと規模が大きい会社を作る必要が出てきたからです。たとえば、バス会社を作つて地域住民の生活を便利にするぞ！と思つても、数人の資金だけではバスをたくさん買えません。多くの人がお金を出してもらわないと、そうした規模の大きい会社は成立しないんです。だから「株式会社」にするのです。

## 会社は誰のもの？

最近、「会社は誰のものか？」という話題をよく耳にしませんか？先ほど株主が会社のオーナーになると説明しました。であれば、会社は「株主のもの」で「株主が自分の好きなように経営できる」と考えることもできますが、本当にそれでよいのでしょうか？これは「コーポレートガバナンス（企業統治）」という分野で以前から研究されているテーマなのですが、ここ数年、お茶の間を賑わした「村上ファンド」や「ホリエモン」の存在によって、多くの人が耳にするようになりましたね。さて、「村上ファンド」って、何で話題になったのだったっけ？

そもそも「ファンド」というのは、優良企業にお金を投資して利益を出す投資組織です。いい会社の株主になれば、配当を多くもらえ、株主も儲かります。そのため、利益を出せそうな企業に投資をしたいと考えるのは自然なことです。

ですが「村上ファンド」は、投資するだけでなく、いろいろな要求をしました。企業の大株主となった村上ファンドは、「株主がオーナーだ。株主の言うことを聞け！」と求めたのです。「会社の預金が多すぎる。投資に回さないなら株主に渡せ！」「資産の中に遊休不動産が多い。一部を今すぐ売つて、売つたお金を配当に回せ！」など様々な要求です。

こうした「もの言う株主」は米国ではよくみられますが、日本では珍しい存在でした。村上ファンドからすれば、株主が経営についてチェックしたり主張したりして、株主の利益を最大化することが第一目的です。単純には言えませんが、そうした「株主の利益最大化」を追求していくと、どちらかというと短期的に利益を上げる経営に傾きがちで、長い目で見て会社を存続させたり発展させるという視点が二の次になることもあります。

しかしその会社の経営者や従業員は、長く会社を存続・発展させたいと考えています。

株式会社では、株主が会社の経営に意見を出すことが認められていますので、経営陣に要求を出すこと自体は何も問題ではありません（注：村上氏はその後、逮捕されて話題になりましたが、逮捕された理由は「株主としていろいろな要求をしたから」ではなく、全く別に「インサイダー取引」という法律違反をしていたからです）。

ここで知っておいてほしいのは、「もの言う株主」に限らず、株主と、経営者、従業員との間では、利害が一致しないケースがあるということです。

では、利害が一致しない場合、どうすればよいのでしょうか？会社は株主のものだから、全て株主の言う通りにすべきなのかというと、そうではありません。

確かにお金を出しているのは株主ですが、毎日汗水たらして会社を育ててきたのは社長（経営者）です。「育ての親」は社長なのです。さらに、日々の具体的な仕事をこなし、利益を実際に稼いでいるのは、そこで働く従業員です。従業員にとつては、会社は生活の一部で、簡単に切り離せるものではありません。お金も出していませんし、親でもありませんが、会社の存続を自分自身の生活に組み込んで生きていますし、会社を良くしよう、利益を上げようと、日々働いているのです。会社はそこに関係するみんなのものという認識を忘れてはいけません。

「コーポレートガバナンス」では、会社の価値を最大化させたり、中期的に存続・発展させていく統治方法とは何か？株主、経営者、従業員の関係はどうあるべきか？といったテーマをずっと研究しているのです。「株式会社」って奥が深いですね。

さて、活力ある経済社会を創っていくには、どういう会社が理想だと思いますか？あなたも一緒に考えてみましょう。

# わたしは ダマサレナイ!!

## 第5話 未公開株取引詐欺

●監修 樋山 昌子 (ひやま・まさこ)

東京都消費生活総合センター／消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた詐欺事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。なぜだまされてしまうのか？ここで再現する巧みな話術に、その秘密が隠されています。「私だけは大丈夫!」なんて甘く考えてはいませんか？実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



### 未公開株の詐欺とは？

株の発行会社が、「近く上場する」、「値上がり確実な未公開株がある」などと架空の話をもちかけたり、発行会社とは全く別の企業が「発行会社から特別に入手し、自分達だけが希少な株を販売できる」などと言ったりして購入代金を振り込ませ、現金をだまし取る詐欺的な事件が頻繁に起こっています。

未公開株とは、株式市場に上場されていない株式です。未公開企業は、厳しい上場基準を経ている企業などに比べて、不透明な部分が多く情報開示も十分でないため、詐欺の対象になりやすいのです。

また、未公開企業は、上場企業に比べ倒産のリスクも高い一方、これから急速に伸びる企業の中にはあるため、その旨味をちらつかせて接近してくるのが悪質業者の常套手段です。巧妙に仕組まれた詐欺のため、未公開株は多くの人が信じ込み、十分に調査をせずに購入するといった被害が後を絶ちません。

#### ポイント1

**有望な企業であること、  
値上がりすることを強調して勧誘**

「近く上場する」「値上がり確実」などというセールストークから始まり、その未公開企業が有望な企業であることが一目でわかるようなパンフレットやHPを見せるなど、相手を安心させるために非常に手のこんだ資料を用意しています。

大切なことは、相手が提供する情報をそのまま信用しないことです。その未公開企業には経営の実態があるのか、上場するとし



たらどこが幹事証券会社なのかなどを慎重に調べましょう。また、株式には「値上がり確実」などということはありません。

#### ポイント2

#### 証券会社を装う「二セ」証券会社

証券会社を装った企業が、未公開株の買取をほのめかしたり、取引を仲介しようと勧誘する場合があります。ここで注意したいのは、未公開株の売買ができるのは、当該未公開株発行会社と金融庁の登録を受けた証券会社などだけということです。

その会社が登録された証券会社かどうか、金融庁のHPで確認できます。社名には必ず「証券」という文字が入っています。証券会社以外の相手から勧誘された場合は、手を出してはいけません。

(注) 別々の会社が実はグル!?

常套手段ではありませんが、未公開株の購入を持ちかける発行会社が、別の「二セ」証券会社と共謀して詐欺的行為を行うこともあります。二セ証券会社は、まったく発行会社と関係ないことを装って、いかにその未公開株が希少で有利な投資対象であるかを説明したり、未公開株を後で高値で買い取るなどと言って、信憑性をかもし出し、未公開株を買っ気になせませう。

#### ポイント3

#### 預かり証は役に立たない

「株券は譲渡制限がついているため、名義書換に時間がかかる」などととっともらしいことを言い、株券のかわりに預かり証を送ってくる場合があります。こうした詐欺の場合、「預かり証」は法的に資金返還請求の役には立ちません。お金は戻ってこないでしょう。





(注) 名義書換と譲渡制限

未公開株は原則として券面に「株の譲渡に当たっては取締役会の承認を得なければならぬ」などと記載され、譲渡に関して制限が付けられています。したがって、名義の書換には時間がかかります。

#### ポイント4

**すでに被害に遭ってしまった方は二次被害に注意！**

一旦お金を振り込んで被害に遭うと、この手の悪質業者のネットワークに個人情報リストが回ってしまい、毎日のように勧誘の電話やDMがくるようになります。また被害に遭った人の救済を装った詐欺もあるので気をつけましょう。

#### 「相談先」

未公開株取引の被害に遭われた方、また是不審に思った方は、地元の消費生活センターや警察、弁護士などに相談しましょう。

#### 【詳しい情報は】

- 金融庁  
「未公開株購入の勧誘にご注意！  
～一般投資家への注意喚起～」  
<http://www.fsa.go.jp/ordinary/mikoukai/index.html>
- 日本証券業協会  
「未公開株の勧誘にはご注意ください」  
<http://www.jsda.or.jp/html/pdf/060201mikoukai.pdf>
- 東京都消費生活総合センター  
「本当に上場されるの？  
『あやしい未公開株』勧誘にご注意!!」  
<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/sodan/kinkyu/051026.html>
- 国民生活センター  
「消費生活相談データベース 未公開株」  
<http://datafile.kokusen.go.jp/wadai/mikoukai.html>



# 都道府県金融広報委員会の活動紹介

## 豊かな暮らしのお手伝いを

愛知県金融広報委員会

当委員会は、愛知県県民生活部県民生活課に事務局を置き、愛知県、東海財務局、日本銀行名古屋支店が中心となつて、金融知識の普及・啓発に努めています。

一般消費者に対しては講演会の開催、地域で開催される学習会への講師派遣、児童生徒に対しては研

究校等において金融・金銭教育の実践を行っています。

昨年度は、講師に幸坊治郎さんをお迎えして、「情報の正しい判断」報道現場から」をテーマに約850名の一般消費者を対象に講演会を開催しました。

また、各地域での学習会等へは金融広報アドバイザーを派遣し、延べ約1,200名の方々が金融について学びました。

金融・金銭教育研究校では、現場の先生方に金融・金銭教育を実践していただき、その模様を保護者、

教職員、地域の方々に対して公開し、また講師にあんびるえっこさん、いちのせかつみさんをお迎えし、金融教育が必要な理由などをわかりやすくお話いただきました。

今年度は、子どもから大人まで一緒に金融について学べる場として、12月に『金融教育フェスティバル』の開催や金融・金銭教育研究校において公開授業、講演会を計画しています。今後とも、金融経済情報の提供、金融教育の推進に力を注ぎ、みなさまがより豊かな暮らしを実践できるようお手伝いしていきたいと思います。

## より多くの方々に金融・経済情報の提供を

佐賀県金融広報委員会

当委員会は、佐賀県くらし環境本部くらしの安全安心課に事務局を置き、日本銀行佐賀事務所及び福岡財務支局佐賀財務事務所と連携して金融・経済に関する情報提供を中心に広報、実践活動を展開しています。

平成20年度に当委員会が実施し

た活動のひとつ、「親子で学ぼう！金銭教育」をご紹介します。親子でお金と上手に付き合う方法を学んでもらい、金銭教育実践へのきっかけにしておうと講演会及び4種類のワークショップを開催しました。講演はあんびるえっこ先生をお招きし、「お金のしつけ」子どものお金教育を考える」をテーマに、『欲しいもの』と『必要なもの』の違いについてお話しいただきました。ワークショップは①定額のおこづかいを教材に親子で遊びながら考えてお金を使う「おこづかいゲーム」、②おこづかいで何を買ったか記録をつける

習慣を養う「おこづかい帳作り」、③様々なお金の問題にチャレンジする「クイズ！お金なんでも博士」、④不要になったオモチャを持ち寄りそのポイントで買い物を体験する「かえっこバザール」(写真参照)を実施しました。会場は終日子どもたちのはしゃぎ声で賑わい、参加した保護者の方からも「お金について考える良いきっかけになった」、「かえっこバザールは環境にもやさしい取り組み。また参加したい」などと好評でした。今後も様々なイベント等を通して、より多くの方々に金融・経済に関する情報提供を続けていきたいと思います。



# 金融広報アドバイザーの紹介

## 若いころから正しい知識を身につけることが必要

野澤通

(茨城県)

### 身近なものにととると興味がわいてくる

「金融教育の第一歩は、とにかく金融に興味を持つてもらうことです」  
こう語るのは、茨城県下で金融広報アドバイザーとして精力的に活動している野澤通さんです。FPとして、また日本ファイナンシャル・プランナーズ協会茨城支部長としての仕事も同時にこなしながら、子どもや学生、主婦などに講演や金融教育を行っています。

金融広報アドバイザーとしての活動を始めた当初、子どもたちの金融への無関心さに驚いたという野澤さん。そこで金融広報中央委員会が平成17年度に実施した「子どものくらしとお金に関する調査」の結果から、とくに誤解の多い分野に力を入れることにしました。

「この調査のなかに、たとえば『契約は全て書類に記名し、印を押すことで成り立つ』という設問があります。正解は×。口頭での契約も原

則として有効なのですが、この設問の正答率は高校生でもわずか22.4%に過ぎませんでした。契約は、今後彼らの人生のあらゆる場面で必要になってくる大切なことです。そこで私は、学生のお大半が持っている携帯電話を例にして契約の概念を説明しています。身近なものにとと

えることで、より興味を持つてもらえると思うからです」。また、簡単な複利計算が必要な設問に対しても、77.4%の高校生が誤った解答をしているとのこと。「つまり、複利の概念を知らない若者が多いということですね。マネープランを考えるにあたっては、複利と単利では長い年月で比べると大きな違いが出てきますので、これもぜひ知っておいてもらいたいことです」

### 若い世代への金融教育をもっと充実させたい

野澤さんは大学卒業後、住宅メーカーに入社。住宅分譲部門などに

16年間勤めました。その間に得た知識を活かし、99年に同社を退職してからは不動産や相続問題に強いファイナンシャル・プランナーとして活躍しています。金融アドバイザーとしての活動では、まず金融に興味を持つてもらえることを目標にしています。たとえば主婦や年配の方には、土地建物とその相続についての話を自らのノウハウをおりまぜて話し、学生にはパソコン

来のリスクを教えてくださいますよ」  
お金全てというわけではありませんが、お金の問題は避けて通れないのもまた事実。お金と上手につきあい使っていくための知識を、今まで以上に若い世代に伝えていきたいと話す野澤さんは、単なる金融知識ではなくその後の行動に活かしてもらえることを願いながら、日々の活動に取り組んでいます。

を使って知るぽるとホームページの「生活設計診断」シミュレーションをやつてもらいゲーム感覚で知識をつけていくなど、受講者によって話す内容を変えているのもその一環です。

「金融知識は、必要なものですが最初は馴染みにくいため、まずは興味を持つきっかけになるようなプログラムを模索しています。ちなみに自分の娘には、一緒に人生ゲームをやりながら将



金融広報アドバイザーとは、金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計や金融・金銭教育の指導等を行う金融広報活動の第一線指導者です。現在、全国に約480名います。



## 年金への関心をきっかけに より自立した生活を

鈴江一恵  
(香川県)

知識や情報の提供よりも  
「気づき」を大切に

ファイナンシャルプランナーや社会保険労務士、キャリアコンサルタントに確定拠出年金プランナーなど様々な資格を持ち、幅広く金融の世界

で活躍している鈴江一恵さん。平均して年10回ほど香川県金融広報委員会が開催するセミナーの講師を担当しています。

セミナーを通して鈴江さんが訴えているのは、より自立した生活。

そのために生活設計に役立つ内容を心がけているとのこと。「セミナーでよくお話しするのは年金や医療保険についてですが、たとえば、みなさんに年金の手続きなどはどうしているかとお尋ねすると人まかせになっている方がけっこう多いんです」。「そこで自ら役所に足を運んで調べた結果、必要な届け出をしたことにより受ける年金額が増えた例や、もらい忘れた年金が発見できた例などをお話すると受講者

のみなさんの表情が変わっていくのがわかります」

鈴江さんがウエイトを置いているのは「気づき」。単に知識や情報を提供するだけではなく、自立して生活設計をしていく大切さをどのようにして気づかせるか。セミナーではそこに重点が置かれています。

気づくことは意識が変わること。そのお手伝いをしていくことに金融広報アドバイザーとしてのやりがいを感じると鈴江さんは話します。「私はよくセミナーで『変わらない生活をしていくためには、自分が変わらなければならない』と訴えています。確定拠出年金の普及など、年金も自分の責任で運用していかなければならぬ時代へと変わっています。そういった中で変わらない安定した生活を維持していくためには、金融に関する意識も変えていくべきだと思うんです」

### ■世界の経済の話題も香川県に置き換えて説明

そんな鈴江さんがセミナーで工夫しているのは、わかりやすさとイメージしやすさ。「金融経済の話題も、そのまま説明してもわかりにくい場合があります。そういったときによく使うのが香川県に置き換える

こと。日本の縮図であるとも言える香川県は、金融経済のお話をする上では、素晴らしい題材なんです」

鈴江さんによれば世界経済と日本との関係も香川県と他県とに置き換えれば実感しやすくなると言います。

「香川県は、日本と同じく県内に資源が多くない地域。それに、香川県は、個人預貯金高が全国でも上位ということもあって、日本国民の堅実性が表れているといったことなどをお話すると興味を持ってもらえます」

生活設計や個人の自立にとって金融教育の必要性を感じ、毎回、講演を工夫している鈴江さん。これまで、年金の話のみならず、大学生にもケース教材を使つて討議を取り入れるなど、将来の生活がイメージできるように取り組んできました。そして、今後は、30歳や40歳代の人たちのより多くの参加を期待しているとのこと。「30代から40代はもっとも生活設計が大事な時期。働き盛りで社会の中核を担っている世代が年金などに積極的になることで社会全体にもいい影響を与えていけると思います。そういった人たちがもっとセミナーに参加していただけたことを願っています」



## 第8回「金融に関する消費者教育フォーラム」を開催 関係機関・団体が活動状況や連携等を活発に意見交換

金融広報中央委員会では、5月12日(火)、日本銀行本店で第8回目の「金融に関する消費者教育フォーラム」を開催し、多数の関係機関・団体等にご参加いただきました。

初めに恵谷事務局長より、「サブプライム問題に代表されるように、今回世界的にも、金融知識の不足が認識され金融教育の重要性が一段と高まっている環境の中で、皆様方との緊密な連携

を図って、知恵やノウハウを結集させた効果的な活動の展開が大事であり、本日の会議を有意義な意見、情報交換の場としてご利用いただきたい」との挨拶がありました。

次に、渋谷事務局次長から前年度の活動実績を踏まえた、当委員会の21年度活動方針等の説明があり、その後、参加者からは最近の活動状況や刊行物が紹介され、有意義な情報交換がなされ

ました。今回の会議に参加したメンバーからは「各団体の最近の活動状況を知ることができた」、「さらには、「具体的な活動の工夫や提案等の情報も共有できたことで、金融広報中央委員会を中心に、お互いに連携を深めることが十分に可能だと感じた」といった声が寄せられました。最後に当委員会から、参加機関・団体等に対して一層の連携や協力を依頼し、本会議を閉会しました。



## 作文・小論文コンクールに 応募してみませんか？

詳細は知るぼるとホームページをご覧ください  
([www://shiruporuto.jp/](http://www.shiruporuto.jp/))

金融広報中央委員会では、毎年、コンクールを実施しており、本年度も6月より公募を開始しています。

入賞者からは「作文をきっかけにお金について深く考えることができた」、「夢に向かって頑張ろうという気持ちが強くなった」といった声が聞かれました。

みなさまのご応募をお待ちしております。

### 第42回「おかねの作文」コンクール

(対象:中学生、締切:9月20日)

テーマを次の中から選んで、400字詰め原稿用紙5枚で書いてみましょう。

- ①私の活きたおかねの使い方
- ②いま、地域を元気にしている会社や商店について考える
- ③将来の夢の実現とおかねの関わり
- ④携帯電話やインターネットとの付き合い方
- ⑤悪質商法の被害にあわないためのわが家の対策
- ⑥その他(自由テーマ)

### 「金融と経済の明日」第7回高校生小論文コンクール

(対象:高校生・高等専門学校生、締切:9月20日)

テーマを次の中から選んで、400字詰め原稿用紙6～10枚で書いてみましょう。

- ①あなたのライフプランと働くことについて考えよう
- ②超高齢社会におけるこれからの年金・保険
- ③世界の経済情勢について考える
- ④日本経済を活性化する将来有望な産業とは
- ⑤インターネット取引の上手な活用方法
- ⑥その他(自由テーマ)

### 「金融教育を考える」第6回小論文コンクール

(対象:教師・教師を目指す大学生等、締切:9月30日)

次のテーマにより2,000～8,000字でご応募ください。

- ①金融教育に関する授業や学校行事での実践報告
- ②これから取り組んでみたい金融教育
- ③これからの時代に求められる金融教育
- ④金融教育をさらに普及していくための提言
- ⑤その他





## 都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011(241)5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017(734)9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019(624)3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022(211)2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018(824)7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023(630)3101
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024(521)6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029(224)2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028(623)2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027(226)2284
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1街区2F	048(261)0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043(225)7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03(3277)3788
神奈川県金融広報委員会	〒231-8588	横浜市中区日本大通1	045(210)3874
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055(227)2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026(227)1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025(223)8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076(424)4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076(223)9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776(22)4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8570	岐阜市数田南2-1-1	058(213)9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054(273)4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052(954)6166
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059(246)9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077(528)3412
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075(212)5151
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06(6206)7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078(334)1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742(27)5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8585	和歌山市小松原通1-1	073(441)2342
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-271	0857(26)7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852(32)1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086(227)5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082(227)4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市澁町1-1	083(933)2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088(621)2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087(825)1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089(933)6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088(822)0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092(725)5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952(25)7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095(820)6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市水前寺6-18-1	096(383)2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097(533)9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985(23)6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099(286)2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098(866)2187

くらし塾 Vol.9  
さんゆう塾

平成21年7月発行

- 編集・発行  
金融広報中央委員会
- 編集協力  
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

### 編集後記

今号から、新しいコーナー「経済のしくみ ゼロから知ってみよう!」や、新しい連載エッセイ「くらしの中の金融経済学」を始めて、金融や経済のしくみに関する話を、わかりやすく取り上げてみました。いかがでしょうか? こんなテーマを取り上げて欲しいといった、みなさまからのご意見やおたよりもお待ちしています。

\*本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。

\*なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>

# 知るぽるとミュージアム

金融広報中央委員会 貯金箱の歴史 ①

## 【新幹線型貯金箱】

2008年



## 【車型貯金箱】

2006年



日本が初代王者に輝いた第1回ワールド・ベースボール・クラシック。日本中がその歓喜に沸いたこの年、車型の貯金箱が登場しました。貯金箱は、矢口家のキャラクターが描かれていて、イベント等で参加者が自由に色を塗ったり、組み立てることができるのです。また、貯金の目標額を自分が書き込むという目的意識を持つってもらう貯金箱です。その二年後には新しいバリエーションとして新幹線型も登場しました。

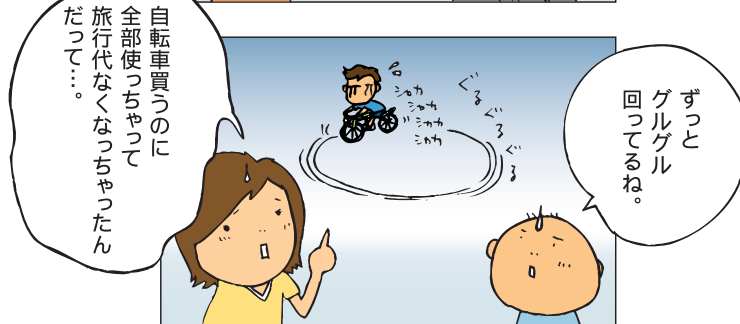
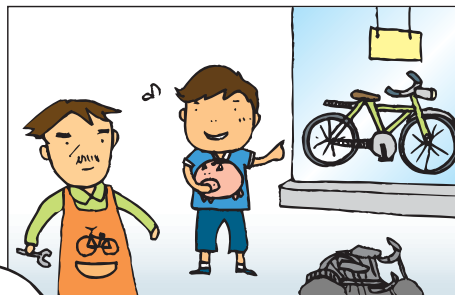
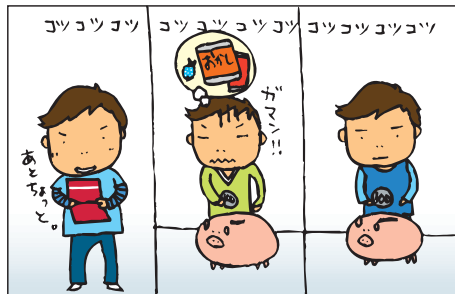
※本誌P.16～17の「知るぽると最前線」掲載の金融教育フェスティバルの各会場にて、今年も貯金箱作りを体験していただけます

知るぽるとホームページの楽しい親子向けコンテンツです！

# おかねのね

知るぽるとホームページ  
おかねのね  
おかねのつかい方道場  
(小学3・4年生)より。  
貯蓄の意義を知って、  
計画的に貯蓄した  
お金を使うといった  
経験をさせてみましょう。

## 自転車旅行!?



小学生を対象とした教材で、ご家庭で保護者と一緒に楽しくお金の知識を学べます。  
68テーマについて、4コマまんがと子ども向けページ、大人向け解説ページがあります。  
親子で一緒に、クイズに挑戦したり、ワークをやってみませんか？

<http://www.shiruporuto.jp/teach/katei/okanenone/>

知るぽると <http://www.shiruporuto.jp/>

●「知るぽると」は金融広報中央委員会の愛称です。金融の情報が集まる「港」であり、分かりやすい金融の知識への身近な「入り口」です。